

「第3次相模原市食育推進計画（案）」に関する パブリックコメント手続の実施結果について

1 概要

食育とは、食に関わる様々な経験を通じて食に関する知識と食を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。

食に関する知識や食を選択する力は、子どもの頃から家庭、学校、地域等様々な場所で学び身に付け、生涯にわたって実践し、育み続けていくものであることから、食育の推進に当たっては、学習の場の提供や食を取り巻く環境を整備し、充実させていくことが重要です。

このようなことから、市民の心身の健康の増進と豊かな人間形成につながる食育を総合的かつ計画的に推進するために、第3次相模原市食育推進計画を策定するものです。

この度、同計画を策定するに当たり、市民の皆様からのご意見を募集いたしました。

その結果、15人の方から53件のご意見をいただき、お寄せいただいたご意見についての意見募集の概要、ご意見の内容及びご意見に対する本市の考え方を次のとおり公表します。

2 意見募集の概要

- ・ 募集期間 平成30年12月15日（土）～平成31年1月21日（月）
- ・ 募集方法 直接持参、郵送、ファクス、電子メール
- ・ 周知方法 市ホームページ、健康増進課、各行政資料コーナー、各まちづくりセンター（城山・橋本・本庁地域・大野南まちづくりセンターを除く）、各出張所、各公民館（沢井公民館を除く）、各図書館、市立公文書館、広報さがみはら

3 結果

（1）意見の提出方法

意見数		15人(53)件
内 訳	直接持参	0人(0)件
	郵送	0人(0)件
	ファクス	1人(5)件
	電子メール	14人(48)件

（2）意見に対する本市の考え方の区分

- ア：計画案等に意見を反映するもの
- イ：意見の趣旨を踏まえて取組を推進するもの
- ウ：今後の参考とするもの
- エ：その他（今回の意見募集の趣旨・範囲と異なる意見など）

(3) 件数と本市の考え方の区分

項目		件数	市の考え方の区分			
			ア	イ	ウ	エ
	計画の構成及び数値目標に関すること	6		3	2	1
	食育の取り組みに関すること	6	1	3	2	
	学校給食に関すること	40		3	37	
	その他	1			1	
合計		53	1	9	42	1

(4) 意見の内容及びご意見に対する本市の考え方

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
計画の構成及び数値目標に関すること			
1	<p>(全体構成について)</p> <p>食育基本法は前文で子どもの食育の重要性を訴えているが、この計画では、子どもの食育の位置づけが極めて弱い。計画の体系図の中でも、学校での食育、給食などとの関連がほとんど位置づけられていない。意図があるのか。</p>	<p>本計画では、子どもも含めて、家庭や地域での食育の推進に関する内容を「市民」、家庭や地域の食育の推進のための環境整備に関する内容を「環境」として整理しており、学校での食育は「環境」に位置づけられています。</p> <p>ご意見の趣旨については、本計画に含まれているものと考えております。</p>	イ
2	<p>(食を通しての豊かな人間性を育む P20)</p> <p>「食を通して豊かな人間性を育む」では、なぜか家庭と地域だけで、学校の位置づけがない。学校での取り組みをきちんと位置づけるべきではないか。</p>		イ
3	<p>目標値は何を根拠に設定しているのか。</p>	<p>数値目標や目標値については、国や県の計画と整合性を図り、可能なものについては同様の項目を設定することとしております。</p>	エ
4	<p>「食に関する情報発信を行う人」を特定給食施設に絞って食育は普及しないのではないかと。例えば、当市の保育行政においては「食育」=保育施設で行なうもの、という固定観念があるように見えるが、本来、食育の主体は家庭である。したがって、施設支援だけでなく、家庭に浸透したことがわかる指標を立てたほうが良いのではないかと。</p>	<p>本計画では、家庭や地域での食育の推進に関する内容を「市民」、家庭や地域の食育の推進のための環境整備に関する内容を「環境」として整理しております。</p> <p>家庭に対する食育については、「市民」の目指す姿・目指す姿の指標において、市民への調査により把握することとしております。</p>	イ
5	<p>数値目標は、国連が定めたSDGsの評価指標を用いてはどうか。</p>	<p>SDGsについては、食育との関連も大きいものであると認識しておりますが、本計画では国や県の計画と比較し、本市の課題を明確化できるよう、数値目標についても整合性を図るよう努めております。</p> <p>SDGsに関しては今後の国や県の動向を踏まえ、より整合性を図ってまいります。</p>	ウ
6	<p>(P.51)</p> <p>目標に中学校給食の利用率を入れたらどうか。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
食育の取り組みに関すること			
7	<p>(P13 朝食を毎日食べない子ども)</p> <p>朝食を食べない子どもが増えて10人に1人となっている。この問題をどう捉え、対応するのか。朝食を提供する小学校なども現れている。また、中学校でお昼を食べられない生徒がいるという新聞報道があったが、食育を唱える前に、食べられる環境を整えるべきではないか。</p>	<p>子どもの欠食は大きな問題と考えており、引き続き啓発などに努めて参りたいと考えております。</p> <p>また、デリバリー給食実施中学校において、家庭環境により昼食を用意できない生徒への支援としてデリバリー給食の無償提供を行なっております。</p>	イ
8	<p>(高齢者や単身世帯の孤食への取り組み)</p> <p>食を通したコミュニケーションといっても、高齢者や単身世帯ではその機会がないように思う。</p> <p>いくつかの取り組みは行われていると思うが、ひとつ提案として地域の学校での共食の日、地域の高齢者など(高齢者に限らなくてもいいと思うが)が、学校で集まって給食を食べられる日などはすでにある施設を利用できるのでお金もあまりかからないし、地域の繋がりもできていいと思う。</p> <p>そのためにも、各学校の調理室は残して、使い切るということを考えてほしい。これは地域に対しての食育にもつながると思う。</p> <p>(学校給食調理施設は、災害時の炊き出し施設としても有効であることは言われている。残して、活用する道を考えるべき。)</p>	<p>本計画は食育に関する考え方や各施策の方向性を示すものであり、ご意見として承ります。</p>	ウ
9	<p>(P.24)</p> <p>「主な事業」に公民館等で開催される教室等の～ とあるが、公民館有料化に伴い公民館の利用についても厳しくなっており、公民館の教室等で調理したものを食べるためには午前と午後通して部屋を借りなければならない。</p> <p>以前は午前中借りているだけで12時半くらいまで利用出来たが、今は出来なくなっている。これも、各課で状況を照らし合わせて考えて行くべき。</p>	<p>公民館の部屋の利用時間区分につきましては、使用料導入以前から午前中は9時から12時までとなっており変更しておりません。また、その運用につきましては各公民館の運営協議会等で定めています。</p> <p>料理実習室の利用に関するご意見につきましては、各公民館に伝え、現状把握と情報の共有を図るとともに、共食の機会の充実について検討してまいります。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
10	<p>相模原市の郷土料理とは何かを、料理名をあげて周知・普及を目指し、また学校給食等で頻回に提供してはどうか。</p>	<p>相模原市の郷土料理の普及につきましては、ふるさとの技術指導士や食生活改善推進団体わかかな会等による郷土料理の普及に関する教室等の実施や、学校給食において郷土料理を提供するなどの取り組みを推進するとともに、普及に向けた周知方法について引き続き検討してまいります。</p>	イ
11	<p>市民が利用する頻度の高い大型店舗(スーパーマーケット等)に、地場産品のコーナーの常設を求めるなど、協力を依頼してはどうか。</p>	<p>本市では、生産農家の販売促進を図るため、スーパーマーケット等の販売店や飲食店とのマッチング商談会を開催するなど、市内産農産物の流通促進に取り組んでおります。</p> <p>こうした取り組みを通じて、市内の一部のスーパーマーケットにおきましては、生産農家との直接取引や、地場産品の常設コーナーの設置等を実施しております。</p>	イ
12	<p>(災害の位置づけ)</p> <p>食育の具体的な内容として、災害時の食に対する意識を高めることも必要で、食の備蓄なども位置づけるべきではないか。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、災害時の食に対する意識の向上に関する取り組みについて、以下の通り追記いたしました。</p> <p>P.41 環境： 目指す姿を達成するための取り組みの視点 - 1 「食を通して元気で豊かな人間性を育むために充実した情報の受信及び発信を図ります」</p> <p>《市の取り組み》 ・災害時の食への意識を高めるため、災害に備えた食の備蓄等に関する啓発を行います。</p> <p>《主な事業》 ・災害に備えた食の備蓄等の啓発</p>	ア

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
学校給食に関すること			
13	<p>この計画では、食育の場としての学校給食の内容をもっと具体的にすべきではないか。最も食育が必要で効果が高いのは子どもに向けたものであり、その場所は家庭や学校給食であるから、そこへのアプローチが重要ではないか。</p> <p>又、学校給食への内容をもっと具体的で充実したものにするには、学校保健課と連携が必要で、課同士が連携して内容を充実させて欲しい。又、食品ロスに関しても触れられているが、同様に廃棄物政策課と連携して進めるべきではないか。</p>	<p>本計画では、子どもも含めて、家庭や地域での食育の推進に関する内容を「市民」、家庭や地域の食育の推進のための環境整備に関する内容を「環境」として整理しており、学校給食は学校での取り組みとして「環境」に位置づけております。</p> <p>ご意見の趣旨については、本計画に含まれているものと考えております。</p> <p>また、食育の推進に関しましては、食育関連課によって構成される食育推進検討会議等において検討を行うなど、今後も連携して進めてまいります。</p>	イ
14	<p>地域、家庭という言葉がいくつか出てくるが、そこに学校給食が入ってこないことに違和感を感じる。</p> <p>また、目指す姿 (1)アで市の取り組みについてでも朝食と夕食とあり昼食が見られない点や、給食とあるが、一応触れている程度で具体的な記述がない点も同様に違和感を感じる。食育の中でかなりの部分を占めるはずの給食についてもっと具体的に詳しくしたほうがよいのではないか。</p>	<p>本計画では、子どもも含めて、家庭や地域での食育の推進に関する内容を「市民」、家庭や地域の食育の推進のための環境整備に関する内容を「環境」として整理しており、学校給食は学校での取り組みとして「環境」に位置づけております。</p> <p>ご意見の趣旨については、本計画に含まれているものと考えております。</p>	イ
15	<p>(学校給食による食育の充実)</p> <p>食育、というとまずは家庭、そして学校での食育を考える。それなのにこの食育推進計画には、学校給食のことはほとんど見られないのはなぜか疑問です。</p> <p>学校給食は直接的には子どもに対して行われるが、学校における食体験を通して、家庭にもつながる広い食育になる。学校給食の充実と、学校給食を通じた食育のより一層の充実を求めます。そのことを食育推進計画の中に盛り込んでください。</p>		イ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
16	<p>計画案全体に出てくる「給食」というのが、中学校給食を含んでいるようには見えない。相模原市は中学校でも「完全給食」を実施していると言っているのだから、給食には当然中学校給食も含めるべき。</p> <p>もしも現状の中学校給食がそこに含まれないようなものであるなら、そもそもその見直しも必要。学校保健課任せにせず、各課連携してよりよい給食について考えていただきたい。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
17	<p>(P.46～48)</p> <p>ここには何度も「学校給食」の言葉が出てくるが、これが中学校給食を含めているとは思えない。逆に言うと、中学校給食を小学校と同じような給食にすることで改善される事が多いと思われる。各課連携して給食についての取り組みを見直してもらいたい。</p>		ウ
18	<p>(小学校親子方式による給食の反対)</p> <p>食中毒等衛生面においてリスク上昇の懸念がある。</p> <p>災害時、避難所運営における給食施設の有無が大きく影響すると思われる。</p> <p>小学校単位の独自のメニューが提供出来なくなる。</p> <p>アレルギーのある児童へのきめ細やかな対応が出来なくなる恐れがある。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
19	<p>(小 - 小親子方式の給食について)</p> <p>食育には給食が必要だと考えます。全員で同じものを食べることには意義があると思います。「おいしく」給食を食べることで、食育の効果は上がると思います。</p> <p>だから、市の担当課はぜひ、中学生に温かい昼食を、食缶で届ける方式を考えてください。</p> <p>中学生に温かい昼食を食べさせながら、食育の効果を出すために、デリ弁ではなく、食缶方式で給食が出来ないかと、考えています。</p> <p>その時、食缶を送り出す側として、一番の候補は、近隣の小学校の給食室です。即ち小 - 中親子方式で中学給食ができないか、可能性を追求中です。</p> <p>ところが今、市民に広く知らせない形で、小学校の給食室が廃止されようとしていると聞きました。</p> <p>相模原市の財政に余裕があり、今、小 - 小親子方式にすることに財政支出をして、その後、小 - 中親子方式、あるいは(こっちの方が理想的ですが)自校方式で、中学生に温かい昼食を食べさせるための財政支出が出来るなら、何も文句は言いませんが、決して、財政にゆとりがある訳ではない中で、将来の小 - 中親子方式による中学給食の可能性を塞ぐ措置は止めてください。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきまして、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
20	<p>小学校同士の親子方式の検討会議に健康増進課が入っていないのはおかしい。健康増進課としての意見も反映させて検討してもらいたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	ウ
21	<p>小学校同士の親子方式実施に関しては、現役の保護者だけでなく、広く市民の声を聞いてもらいたい。特に、これから小中学生になる保護者の意見を聞く場は絶対に必要と考える。</p>	<p>ご意見として承り、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
22	<p>食育には給食が必要だと思えます。私自身は中学校まで、給食のある県で育ったので、相模原市は中学校では給食がないと知り、とても驚きました！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係の中で、子ども達が食について考えることが大切である。 ・小学校同士の親子方式では食育が難しくなり、食を身近に触れる事ができなくなる。 ・給食の方式について、保護者・生徒・教職員の声を聞いて欲しいです。 ・米を使った給食を増やして欲しいです。 ・給食の残食を減らすためには、根本的な見直しが必要があると思えます。 <p>相模原市の学校給食がさらに良い方向へ向かうことを願っています。今後は情報の発信も積極的にお願いします。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
23	<p>顔の見える関係の中で食に対する興味・関心が高まり、いろいろな食材や料理を食べてみようとしたり残さず食べようという気持ちが育まれると考えられるので、相模原市が現在検討している小学校同士の親子方式では食育を推進出来ない。</p> <p>むしろ親子式を導入するならば近隣の小学校、中学校で行う小中親子式の方を優先して検討するほうが小中一貫教育をこれから進めていく市の方針に沿っているのではないかと。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
24	<p>(小中一貫教育の中での食育の充実)</p> <p>相模原市では小中一貫教育を一層進めていくとのことだが、食育に関してはまったく重視されていないと感じる。小学校、中学校の義務教育機関においては、給食の時間は「食」という生きていく上での土台を作る大事な時間。現状の中学校給食は選択性など言いつつ、実際は大人の事情、都合によるもの。子どもの選択ではない。</p> <p>子どもにとっての現状の中学校給食の選択は「教えられた栄養の知識により子どもが自らに必要なものを選ぶ」ような食育的な観点によるものではなく、「好きなものを選ぶ」「嫌いなものは選ばない」程度のものであるし、もしくは家庭の事情により選ばざるを得ないというものになってはいないか。</p> <p>そのような中で、小中一貫どころか、同じ中学生でも得られる食育位の格差はどれほど大きいか考えられている制度とは思えない。学校生活の中で、給食は単なる昼食ではなく、他の学科と同じように「科目」、給食の時間は楽しいものであると同時に休み時間とは異なる「食育」という科目の時間。そして、給食は「教材」である。</p> <p>その教材は、各家庭の事情により選択するようなものではなく、栄養教諭により組み立てられた計画に基づく給食をどの生徒にも同じように与えられることで実現されるべきである。</p> <p>中学校でも、小学校と同じように全員が食べる給食を始めることで実現する、そういう目標を計画に入れてください。</p> <p>同じ意味で、現在「小学校 - 小学校親子方式」の検討をしているようだが、小中一貫教育というならば同じ地区の「小学校 - 中学校親子方式」のほうが、一貫した食育が行えると思う。長い目で検討してほしい。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
25	<p>自分の学校で給食を作ってくれる、栄養士さんや調理員さんを見ないと食のありがたみが分からないと思うので、小学校も中学校も自校方式の給食を目指して欲しい。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
26	<p>自分の学校で給食を作ってくれる、栄養士さんや調理員さんを見ないと食のありがたみが分からないと思うので、小学校も中学校も自校方式の給食を目指して欲しい。</p>		ウ
27	<p>P.1の「食育の推進に当たっては、学習の場の提供や食を取り巻く環境を整備し、充実させていくことが重要」左の記載事項について、賛成します。</p> <p>子供のうちから、しっかりと食育し、正しい知識を付けることが大人になってからの食生活につながると思う。特に義務教育時期は、しっかりとした教育や環境を提供することが、市民全体への効果が高いと思う。まずは、学校という場で提供される給食を利用した食育が大事だ。</p> <p>相模原は大半の中学校がデリバリー式のランチボックスタイプの弁当だが、こちらは作っている人の顔も見えにくく、また、残食率が、自校式や親子式に比べ高い。また、家庭弁当と選択式というところから、せっかくバランスの良い献立を用意しているにもかかわらず、嗜好で選んでいる状態だ。これでは食育につながらない。小学校のような全員喫食を前提とした、温かい給食を実施することが食育につながると思う。</p>		ウ
28	<p>P.11 副菜を食べる頻度、主食を食べる頻度、ともに小学生よりも中学生が低くなっているが、昼食にお弁当を持参出来ず、菓子パンなどで済ませている子どももいるのが現状。全員がバランスの取れた給食を食べる事ができれば、自然と数値は上がると考える。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
29	<p>(- (1) 望ましい食習慣の形成を推進します・バランスのとれた食生活を推進するについて)</p> <p>前計画の評価結果の中で、中高生の「脂肪の多い肉類の摂取状況」は増加傾向にあり、副菜を1日2回以上食べる人の割合が低いことや、菓子等の嗜好品を1日1回以上食べる人がどの世代でも多い状況から、栄養バランスの乱れている人が多いことが懸念される現状の中、中学校給食のデリバリー式選択制方式は、一ヶ月単位でバランスの良い献立を立てても、生徒が食べたいメニューを選ぶことで偏った栄養になり、バランスのとれた食生活の推進とかけ離れ、市が推進しようとしていることを、市自体が行っているデリバリー式選択制方式が妨げている。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
30	<p>(P.20)</p> <p>食品ロスについて触れているが、現状の中学校給食は残食率が高く、残食は生徒の見えるところでゴミ袋に捨てられていると聞く。</p> <p>小学校給食では残食はとても少ないのに、中学生になると急に増えるのは、現在の給食の方式に問題があると考える。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
31	<p>「目指す姿 食品ロスを軽減するために取り組んでいる市民の割合・食への感謝の気持ちを育む機会の充実を図る」のところで、給食の方式ではデリバリー給食>センター式>自校式の順で残食率が高くなっている。食品ロスの観点からも中学校給食は自校式を目指して行ってほしい。</p>		ウ
32	<p>中学校給食の残食を生徒から見えるところでゴミ箱に捨てているような場所ではなかなか食育は難しいと考える。残食を減らすためには給食の根本的な改善が必要と考える。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
33	<p>(- (1) 食を楽しみ大切にすることを育む機会の充実を図りますについて)</p> <p>健康を促進し、維持するための食材の栄養や調理の仕方や相模原の伝統的な食材、津久井大豆などを具体的に生徒に教えたくても、現状の中学校給食はデリバリー式選択制方式では、生徒がそれぞれ、デリバリー給食や家庭の弁当、コンビニで購入した物などバラバラの食事では教えられず、計画の妨げになっており、計画と市自体が行っているデリバリー式選択制方式と矛盾している。</p> <p>また、食品ロスを減らす取り組みでは、市民への取り組みばかりを求めるだけでなく、行政としても、相模原市の特に給食センターの残食率は全国平均より高く、食品ロスを助長しているため、原因を追究し、改善すべきである。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p> <p>食品ロスを減らす取り組みにつきましては、ご意見として承ります。</p>	ウ
34	<p>(P.32)</p> <p>学校給食で地場農産物や郷土料理について知る機会を作ろうと思うのであれば、中学校給食でも当然扱われるべき。40%の生徒しか食べていない給食ではその程度の生徒にしか伝わらない。また、P.57の地場農産物の利用割合も中学校給食の喫食率が上げれば達成しやすくなると考える。</p> <p>課題としても「中学生、高校生などの若い世代の認識が低い」とされている。その点も、中学校給食の改善とともに解決出来るのではないか。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
35	<p>伝統的な食文化の継承は、中学校給食を全員の喫食による完全給食にする事で、地場農産物をより多く取り入れられる。また伝統・郷土料理を完全給食で提供する、献立作成などにさらに触れる機会を増やす事になり、地域の食の伝承の推進・数値目標の達成にもつながるのではないか。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
36	<p>中学校自校方式による完全給食を求める。全国を見ても完全給食の率が高い。</p> <p>同じ義務教育であるはずなのに地域によって給食格差があるのは納得いかない。</p> <p>完全給食は食育推進のための役割が大きくその効果に十分期待できる。</p> <p>どの生徒も不公平なく昼食を安心して食べられる満足感は学習にも好影響を及ぼすと考える。</p> <p>アレルギーのある生徒もその対応食によって安心して食べることが出来る。</p> <p>食品ロスを減らすことが出来る。</p> <p>食の安全やその必要性を学ぶ機会が増え、自立に向けた取り組みがしやすくなる。</p> <p>災害時における給食施設の有無・活用は避難所運営に大きな影響を及ぼす。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
37	<p>(P.40)</p> <p>課題「保育所、学校、高齢者施設等様々な施設で食育に携わる全ての人が、食について共通の理解を持って食育に取り組む事が必要」に対しては、学校の全て教員が共通の理解を持つ事は困難と考えるが、各学校に栄養教諭が配置される事によって充実が図れると考えられる。</p> <p>現在、市が検討している小学校同士の親子方式の給食では栄養教諭の数も削減されると予想される。小学校の自校方式を維持するとともに、中学校給食も自校式を目指す事が重要と考える。</p>	<p>小・中学校では、小・中学校での間断ない食育の推進を目指し、小・中学校食育担当者会及び小・中学校食育担当者ネットワークグループ協議会等において、食育に関する情報の共有・検討を行い、学校全体の取り組みとして食育を推進しております。</p> <p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
38	<p>学校給食の現状の向上についてはあまり触れていません。</p> <p>中学校の給食の現状は、すべての子供に「食を通して元気で豊かな人間性を育むための環境が充実している」とは言えないと思います。デリバリー式であるがゆえに、食べられる子、食べられない子に分けられ、食育云々ではなくなっていると思います。</p> <p>また小・中両方ともに言えますが、給食の時間が短いと思います。</p> <p>私語をせずにただ食事を早く済ませるといような指導は、食事の楽しみを奪っていると思います。</p> <p>そのあたりも含めた計画にして欲しいと願います。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ
39	<p>(学校給食を通した食環境の充実)</p> <p>計画の中に地産農産物等や、行事食等の提供とあるが、学校給食を通した家庭にもつながることは現在も小学校ではよく行われていると感じる。</p> <p>それが中学校になるとぶつりと途絶えてしまうのは、もったいない。</p> <p>中学校の給食を充実させることは、家庭に対するの広告、教育にもなる。</p> <p>長い目で見た時に、中学校給食にけるお金は、大きな投資になる。予算をしっかりとって充実させるべきものであることを計画に盛り込んで、学校給食の意味を理解していない人たちに『予算を削るべきものではない』ことをしらせることもまた大事な食育であると思います。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分	
40	<p>中学校ではデリバリー給食を食べている子は少なく、肩身の狭い思いをしている気がする。教室内で食事をしていても「孤食」状態になっている事について改善する事を検討してはどうか。</p>	<p>今後の学校給食のあり方につきましては、地域特性や、学校環境を踏まえて、本市にふさわしい給食の提供体制について、検討して参りたいと考えております。</p>	ウ	
41	<p>中学校ではデリバリー給食を食べている子が少なく、肩身の狭い思いをしている。また、お弁当を隠して食べている子もいる状況では、教室内で食事をしていても「孤食」状態になっている事について改善する事を検討してはどうか。</p>		ウ	
42	<p>デリバリー給食を食べているクラスメイトはよく「不味い」と言っている。まずい給食では食育など出来ないと思う。給食自体を見直してもらいたい。</p>		ウ	
43	<p>デリバリー給食は味が悪く、とても食べられないおかずが出ることもある。栄養面でも食べられなくては意味がない。食べ物を大事にするという気持ちも育たず「残せばいい」と思う事に繋がっている。</p>		ウ	
44	<p>中学校のデリバリー給食は味が悪い物が多く、とても食べられないおかずが出ることもある。栄養面でも食べられなくては意味がない。食べ物を大事にするという気持ちも育たず、残せばいいと思うことに繋がっている。</p>		ウ	
45	<p>給食の時間が短すぎて、食事を楽しむことができない。食事時間を楽しむことも食育であるはずなので、昼食の時間についても検討してもらいたい。</p>		<p>ご意見として承り、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	ウ
46	<p>中学校における昼食時間の確保を求める。特に体育祭や文化祭時は食べる時間がなく弁当持参でも手付かずのまま残し持って帰って来る。成長著しい中学生時に十分な栄養素を取れないのはおかしい。</p>			ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
47	<p>相模原市の中学校の給食は食べる時間も短く、急いで食べなくてはならないので、残す事も多いそうです。</p> <p>また、冷凍食品とわかる物が多いので、成長期の子供の発育にも影響があるのではないのでしょうか？</p> <p>地域で取れた地産地消を取り入れた給食のほうが生育につながると思います。</p> <p>子供達に聞くところによると給食はまずいものが多く、時にはとてもじゃないけど、食べられないものが出る事があるそうです。</p> <p>成長期の子供達の為にも検討していただけないのでしょうか？</p>	<p>ご意見として承り、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	ウ
48	<p>中学校の給食の時間が短すぎて、早食いをしないとならない。食事を楽しめている気がしない。</p>		ウ
49	<p>(P.24 食を通じたコミュニケーションについて)</p> <p>中学校の昼食時間は15分程度、午前中の授業の終わる時間によっては食べる時間が10分にも満たないこともあると聞く。コミュニケーションを取っているヒマなんかない。</p> <p>また、持参弁当を見られるのが恥ずかしくて隠して食べている生徒や、昼食を持参出来ずに欠食している生徒もいると聞く。とてもコミュニケーションをとりながら食事を楽しむ環境であるとは思えない。この点でも、中学校給食の見直しを健康増進課にも考えて頂きたい。</p>		ウ

通番	意見の趣旨	市の考え方	区分
50	<p>(中学校給食の給食時間の問題)</p> <p>中学校では給食の時間が短すぎて、食育どころか早食いに慣れることが大事になっているようです。</p> <p>市が行っている給食を注文することを推奨しているようだが、その給食を食べる十分な時間がない、そのことを学校は知りながら変わらない。そのような中で食べきれないから注文しない、注文しても食べ残すというような状況が起きている。</p> <p>そのような給食を、まともに評価することはできないはずなのに、時間の問題を問題として取り上げないまま、弁当給食の注文を促進しては、それは食育が目的とは思えない。</p> <p>まずは、中学校給食の時間をきちんと確保すること、それが確保された上で初めて現行給食を評価することが出来るはずです。</p> <p>中学校給食の時間を伸ばすよう指導してください。それもせずに食育など語らないでほしい。</p> <p>計画の中の「目指す姿 食を通して豊かな人間性を育む」の中の事業に、中学校の給食時間の十分な確保、数値目標に最低30分、全中学校で、など入れてください。</p>	<p>ご意見として承り、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	ウ
51	<p>P.10 市の取り組みに「中学校給食献立募集事業」とあるが、40%の利用率しかない給食で実施しても効果があるとは思えない。まずは、利用率をあげる事の検討が必要。</p>	<p>ご意見として承り、今後の取り組みの参考にさせていただきます。</p>	ウ
52	<p>学校教育の現場は経費削減ばかり考えているが、食育は知育、徳育、体育の基礎となるもの。決して削減していいものではないと言うことを学校教育の現場にも伝えて欲しい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>	ウ

その他			
53	(委員について) 市内の団体等の代表者だけでなく、市外からも有識者をいれる検討をしてはどうか。	ご意見として承ります。	ウ